

1 ダイオウ末

2 生薬の性状の項を次のように改める。

3 生薬の性状 本品は褐色を呈し、特異なおいがあり、味は僅
4 かに渋くて苦い。かめば細かい砂をかむような感じがあり、
5 唾液を黄色に染める。
6 本品を鏡検（5.01）するとき、でんぷん粒、暗褐色の着色
7 物又はシュウ酸カルシウムの集晶、それらを含む柔細胞の破
8 片、道管の破片を認める。でんぷん粒は球形の単粒又は2 ～
9 4個の複粒で、単粒の径は3 ～ 18 μm 、まれに30 μm 、シュ
10 ウ酸カルシウムの集晶は径20 ～ 60 μm で、100 μm を超える
11 ももある。道管は網紋道管が多く、有縁孔紋、階紋又はら
12 せん紋道管も認めることがある。

13